

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告（その12）です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2021 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の45企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

◇ 企業紹介

【イエイエ宮部建設株式会社】

一般注文住宅の設計・建築請負・アフターメンテナンスが主な仕事です。主なミッションは、家の資産価値を保ち末永く住み継ぐことで住宅ローンを次代に亘り軽減すること。災害から住む人の命を守ること。個性が輝くオンリーワンの住まいを築くこと。そして、皆をハッピーにすること。



【HP】 <https://miyabe-kensetu.com>

SDGs	取 組 中					今 後 の 目 標		
		7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任		13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう

◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・これから訪れると予想される南海トラフを想定した家づくりを行っており、大災害の東日本大震災を何回も耐えることのできる家を作っていると聞いてすごいなと思いました。また、住み心地も考えた家づくりを行っており、お客様からの視点で日当たり、間取り、高さなど多くの工夫している点があり、すごいと思った。人の命を預かる建造物を作っているからこそ、その責任感がひしひしと伝わってきてかっこいいと感じたしとても良いお話を聞くことが出来た。

・家づくりで、消費者の気持ちになって考えることや、具体的な仕事内容について知ることが出来た。現在行っている空き家の問題についても関わらせて家づくりの仕事を考えることが出来た。これからの研究活動に活かしていきたい。

・災害から命を守る、資産価値を保つ、特性の尊重、地球に優しい、地域に貢献する、の5つをモットーに活動されていることがわかりました。基準法より強い工法で作っていたり、一人一人に寄り添ったオンリーワンの家を作っていたりなど、具体的な活動内容を知ることができました。人に愛されること、人に褒められること、人の役に立つこと、人から必要とされること、の4つのしあわせを私も大事にしていきたいです。そして、進んだ先を考えて自分に何が必要なのかを

考えて過ごしていきたいです。

・関市の空き家はリフォームをするよりも一度全て壊してから再び建てる方が良いと教えていただきました。また、建設の面からSDGsを考えるには資材であったり、家のシステムであったり、様々な面から考えることが出来るため、新しい家づくりはSDGsにとってとても大切であると感じました。ただ従来の家を作るのではなく工夫がされた家を作ることは、17の目標達成への近道であるのではないかと感じました。

・宮部建設さんのオンラインセミナーを受けて、建設会社である以上木材は必要となるけど、自然環境を破壊しないように自然を大切にしながら仕事をする姿が素晴らしいと思った。また、宮部建設さんは様々な地域貢献をしている点も素晴らしいと思った。地域貢献はあまり直接的な利益は少ないと思うけど、それでも地域のために動くことが大切だと学んだ。疑問に思ったことは建築に使える木材が世界にどれだけ残っているのかが気になった。石油の様に残り何年と決まっているのなら木材の代わりとなる新たな物資が何で代用できるかを知りたい。

・大量生産ではなく、一人一人に合わせた家づくりをしている、というのがとても素晴らしいなと思った。また、建設業務だけでなく、駅伝大会や、税の講義など関市の活動に貢献していて、とても関市を大切にしている方だと分かった。今まで関市の企業にあまり興味を持てなかったが、もっと知っていこうと思った。

・宮部建設の人たちはものづくりが好きということを生かして、建築で人の役に立つことや人に喜んでもらうことを意識して仕事をしていて、自分の好きなことで他人を喜ばせようと考えことはとても素晴らしく思いました。宮部建設の人々は「何歳(いくつ)になってもカッコいい家」というのをモットーにしてお客さん一人一人に対してお客様のこだわりにも真摯に向き合うということ意識していてとてもお客さん想いだと感じて素晴らしいなと感じました。

・宮部建設さんの講義では「自分の思いを強く持つことの大切さ」や「人との違いを恐れないことの大切さ」、「先を見越して行動することの大切さ」を学んだ。中でも一番印象的だったのは人との違いを恐れないで、「人と違うことは個性であり、今後の社会ではそのことが自分の武器になる。」という言葉です。自分は人に合わせてしまうところが多々あるので自分の意見を強く持ち、それが人と違っていても自信を持って発信しようと思った。

・地震が来たら倒壊してしまうような家よりも、絶対に倒れない家、思い出を一生壊さないように、という思いで建設に携わっていて僕も家を建てる時はこういった会社の方をお願いしたいとも思いました。県内はもちろん、県外からも依頼がくるということから宮部建設さんの思いが多くの人に伝わっていることも感じました。

・「地震に負けない家」というワードに心を惹かれました。日本の象徴の一部でもある木造建築は耐震性が弱いとされていて、現在、洋風の建物が建てられることが多くなっています。そんな中、宮部建設さんは地震に強い木造建築をしていることを聞きました。地震大国の日本にとってこの木造建築は価値のある物だと感じました。そして安心して住める家づくりに興味を持ってました。

・日本の建築の法律は、問題が起こってから改正される。起こらない限り変わらない。絆創膏を貼っていくようなものとおっしゃっていました。問題が起こってから、しっかりと対応する建築

の法律はとても良いものだと思います。また、4つの〈しあわせ〉について話されていました。人に愛されること、人に褒められること、人の役に立つこと、人から必要とされること。この4つのことは必ず自分自身が動いていかないと得られないものだと思います。だからこそ、これからは自分からというものを大切にしていきたいです。

- ・家が地震などの災害で倒壊して亡くなる人がいなくなるように、法律で決められている規定よりも地震に強い家の構造にするなど官部建設ならではの取り組みをしていて感激した。お客さんを第一に考えた仕事の取り組み方でとても仕事熱心だなと思った。

- ・建設業について詳しく丁寧に説明してくださってすごくわかりやすかった。もともと建設にはあまり興味を持っていなかったけど、ただ家を建てるだけでなく地震に打ち勝ちたいという思いや、誰かの役に立ちたいという強い思いを持ってこの仕事をされているとわかった。また、人と違うこと、他社と違うことをして、新たな価値観を生み出したり個性を生かしたりするということが、人と違っていいという考え方がすごく心に響いた。これからの生活でも大切にしていきたいと思った。

- ・建築業は住む人のことを一番で考える。そのために地震や土地まわりの環境の情報に敏感にならないといけない。自分は建築と聞くとデザインのイメージが強かったけど安全性をしっかりと配慮した上でデザインなどを考えて行くのだと学んだ。そして今の時代自動化を積極的に取り入れて効率を上げている。人自体に専門スキルがなくてもアプリがあれば出来る。SDGsに関してはSDGsが作られる前からもともと取り組んでいた。